

人権

～みんなが
幸せになるために～

益城町人権・同和教育推進協議会

Vol.531 「躰」と「虐待」

タイトル「躰」は、「しつけ」と読みます。これは、中国から伝えられた漢字ではなく、日本で考案されたものです。「身」と「美」という二つの文字で構成されており、「身を正しく美しく整えさせる」という意図を持って作られたのではないかと推察できます。ちなみに辞書では、「子どもなどに、礼儀作法を教えて身に付けさせること」とあります。

ところで最近、子どもたちへの「虐待」のニュースが後を絶ちません。こども家庭庁の調査によると、令和5年度の児童虐待相談対応件数は約23万件で、10年前の約3倍に増加しています。

子どもへの虐待とは、本来子どもを守るべき保護者が、子どもの体や心を傷つけることを言います。また、子どもの健康・安全への配慮を怠るネグレクトも虐待に当たります。

虐待をした保護者からは「しつけの一環だった」という声を聞くことがあります。しかし、たとえしつけのつもりで行った行為であっても、子どもの心身に深い傷を与えるものであれば、それはしつけではなく虐待となります。

虐待は、知的・心的な発育や発達の阻害など、子どもの将来にもさまざまな影響を及ぼし、子どもの健やかな成長を損ない、生きる権利を奪うものです。

私たち大人がすべきことは、一人一人の子どもの可能性の種を見つけ出し、それを育てることです。

子どもたち自身が将来、自分で「気持ち、考え、行動する」ことができるよう、その成長を助け、自立を促すことこそが、「躰」という文字に込められた、本来の子育て・教育の姿なのではないでしょうか。

人権についての電話による相談窓口（平日のみ）

●いじめについて

益城町いじめ電話相談 ☎ 286-1770

●さまざまな人権問題

益城町福祉課人権対策係 ☎ 289-1400

同和教育、障がい者・女性・子どもの人権問題、人権に関する法律相談など、各種人権に関する相談窓口は、町ホームページ「人権についての電話による相談窓口」をご確認ください。



防災行政無線

防災行政無線で放送された内容が電話で確認できます。

自動応答電話 ☎ 286-0888

安全×安心

◆かしこい消費者

「定期購入」の落とし穴

「定期購入」に関する相談が、年代を問わず数多く寄せられています。

■主な相談事例

・低価格に魅力を感じて購入したところ、実際は複数回の購入が条件となっていた。定期購入契約だった。

・「いつでも解約可能」との説明で定期購入を申し込んだが、解約手続きが複雑で解約できずにいる。

■消費者へのアドバイス

・通信販売にはクーリングオフ制度が適用されません。

・「格安」や「初回無料」などの宣伝文句に惑わされることなく、契約内容や解約条件を購入前に必ず確認しましょう。

・悪質な業者は解約手続きを意図的に困難にします。不安を感じたら

最寄りの消費生活相談室に相談しましょう。



図 御船警察署 消費生活相談室 ☎ 282・11110 ☎ 286・3210

令和7年 町内の事故・事件の発生状況

事故・犯罪区分	6月中	累計
人身事故	5	28
物損事故	78	416
空き巣	1	2
自販機狙い	0	0
万引き	3	8
オートバイ盗	0	0
自転車盗	0	1
車上狙い	0	2

◆防火と救急

花火を悲しい思い出にしないように

夏といえば花火。多くの人が手軽に家族や友人と楽しめる「おもちゃ花火」で遊んだ思い出をお持ちでしょう。しかしおもちゃと侮り、誤った遊び方をすると、失明や重度のやけどなど、重大な事故を引き起こす危険性があります。

■花火を安全に楽しむための知識

・3歳以下の子どもによる事故が多く報告されています。幼児には花火を直接持たせず、安全な距離を保った場所から見学させるようにしましょう。

・万が一、衣服に花火の火が燃え移った場合の対処法「ストップ・ドロップ・アンド・ロール」を覚えましょう。

・ストップ：慌てずに、その場で立ち止まる。動くとも火の勢いが増すため。

・ドロップ：燃えている部分を地面に押し付けるように体を倒す。

・ロール：地面で左右に転がり続け、火を消火する。

令和7年 町内の火災等発生状況

発生区分	6月中	累計
建物	2	5
車両	0	0
林野	0	0
その他	0	0
警戒出動	0	9
救急出動	131	917
救助出動	0	4

図 益城西原消防署 ☎ 286・2119

益城の文芸

短歌

末武有一選

猛暑日に怪しき雲の追ひかける日傘なれども雨よ降れ降れ 安永 守住 孝子

ましき野を眺めて祈りみどり濃くいずれ黄金の色づく平野 馬水 増田 訓子

いっせいに燕飛びたつ雨あがり山には虹のアーチが架かる 木山 赤城 香織

吾子は自立寡黙な夫に問うてみる喜怒哀楽の五十年を 広崎 日野ヒロ子

読む本の誌面のうえにカーテンの模様の影が忙しく動く 惣領 垣野 幸一

梅雨空の雲間をのぞく青空にホットコーヒーゆつくりする 広崎 大原 郁

窓辺よりジェット旅客機上昇す科学は進歩人の進歩は 西原村 中原 義一

目に眩し新緑の中友訪へば玄関に鍵付けたまま留守 木山 本田 龍子

末武有二先生がご逝去されました。2011年9月号(第420号)から本号までの14年にわたり、全ての作品を情熱と愛情を持って選考していただきました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

俳句川柳 小春選

黒南風や太秦に太刀ひるがへり 安永 福山 友子

凜として肥後朝顔の一花かな 西原村 中原 義一

夏来たる昼の三日月切り絵めき 広崎 大原 郁

七夕や孫の短冊やや長し 惣領 阪口由美子

朝なさな挨拶は先づ暑かねえ 広崎 辻 恵美子

クレーン車夏空へ土持ちあげて 安永 福山 友子

思はざる暑さ辛かる古代蓮 広崎 大石 高義

ひと雨に紫陽花の毬色を増す 木山 鎌田 隆子

ご飯粒の給食目ざし療養す 小池 滝川美智子

床離れ背中振つて垢落し 馬水 増岡 伸禧

里川の蛍明日も会ひたしと 惣領 野々口トミ子